

## 文化に関するアンケート結果

県では、誰もが誇りや愛着を持てる滋賀を目指して、県民の皆さんとともに魅力ある滋賀の文化を育むために制定した「滋賀県文化振興条例」に基づき、文化振興施策の総合的かつ効果的な推進を図るため、文化振興に関する長期的な目標や施策の方向等を定めた「滋賀県文化振興基本方針」を平成23年3月に策定しました。

つきましては、策定しました基本方針の重点施策の評価等を検証するにあたって、県民の皆さんの文化に関するご意向を把握したく、アンケートを実施しました。

★調査時期：平成25年12月

★対象者：県政モニター399人

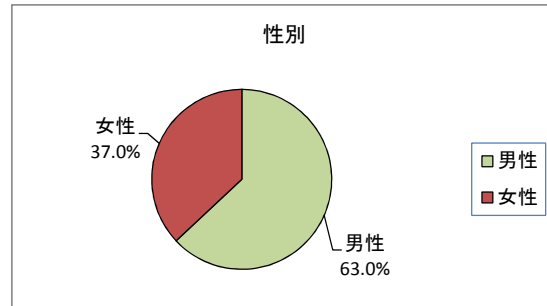
★回答数：322人（回収率80.7%）

★担当課：文化振興課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

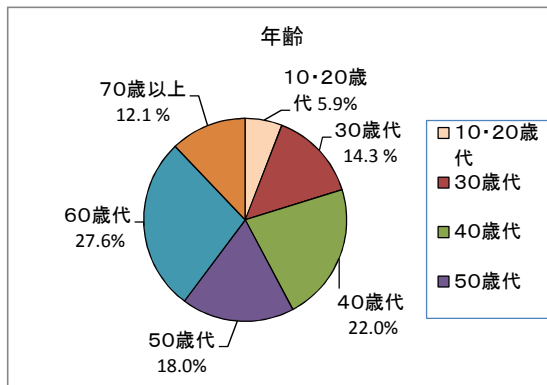
あなたの性別を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
男性	203	63.0
女性	119	37.0
合計	322	100.0



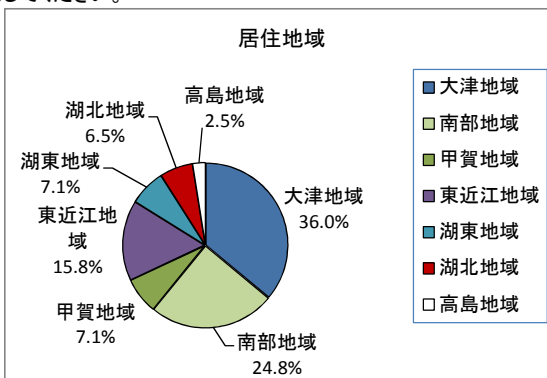
あなたの年齢を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	19	5.9
30歳代	46	14.3
40歳代	71	22.0
50歳代	58	18.0
60歳代	89	27.6
70歳以上	39	12.1
合計	322	100.0



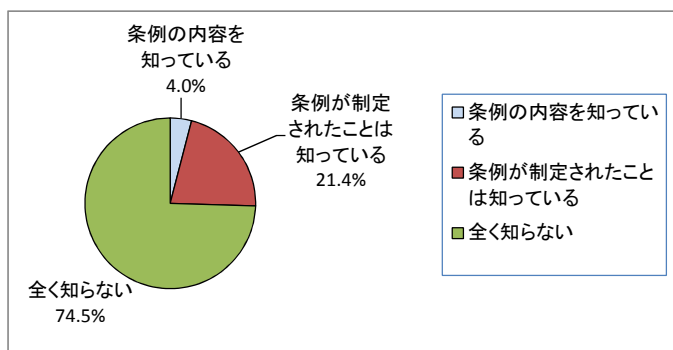
あなたのお住まいの市町名を記入してください。

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	116	36.0
南部地域	80	24.8
甲賀地域	23	7.1
東近江地域	51	15.8
湖東地域	23	7.1
湖北地域	21	6.5
高島地域	8	2.5
合計	322	100.0



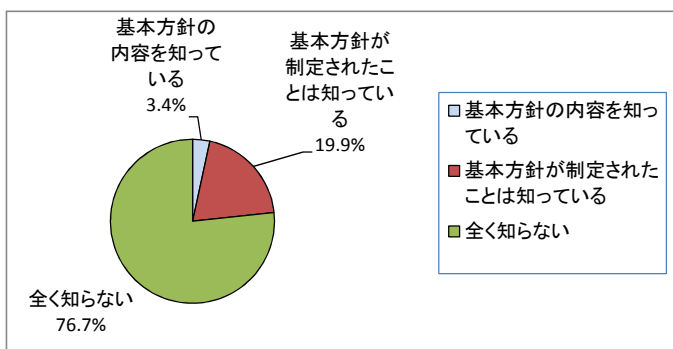
問1 滋賀県では、平成21年7月に「滋賀県文化振興条例」を公布・施行したところです。あなたはこの条例の制定について知っていますか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
条例の内容を知っている	13	4.0
条例が制定されたことは知っている	69	21.4
全く知らない	240	74.5
合計	322	100.0



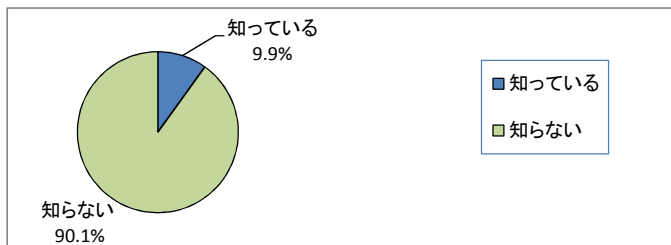
問2 滋賀県では、平成23年3月に「滋賀県文化振興基本方針」を策定したところです。あなたはこの基本方針の策定について知っていますか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
基本方針の内容を知っている	11	3.4
基本方針が制定されたことは知っている	64	19.9
全く知らない	247	76.7
合計	322	100.0



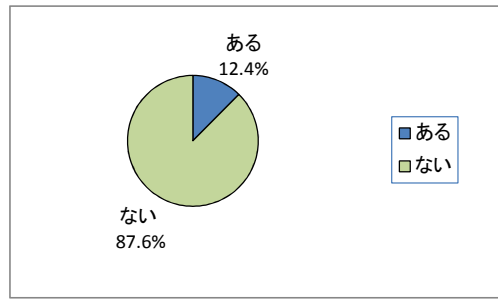
問3 滋賀県では文化振興条例の制定を機に成安造形大学との連携により「文化で滋賀を元気に！」シンボルマークを作成し、県内で行われている様々な文化活動のチラシ等への使用を呼びかけています。あなたは「文化で滋賀を元気に！」シンボルマークを知っていますか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
知っている	32	9.9
知らない	290	90.1
合計	322	100.0



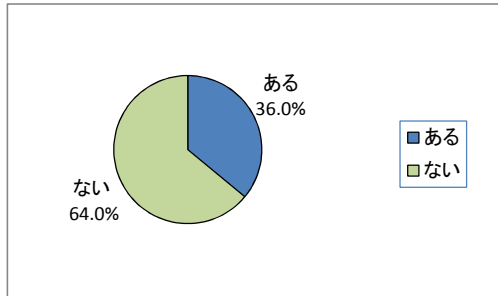
問4 滋賀県では、文化情報発信サイトである「あーとねっと・しが」のホームページを運営し、県内のイベント情報や文化芸術団体、アーティストの情報や文化活動に関する助成金の情報等をインターネットで発信しています。あなたはこの1年間で「あーとねっと・しが」を閲覧したことがありますか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
ある	40	12.4
ない	282	87.6
合計	322	100.0



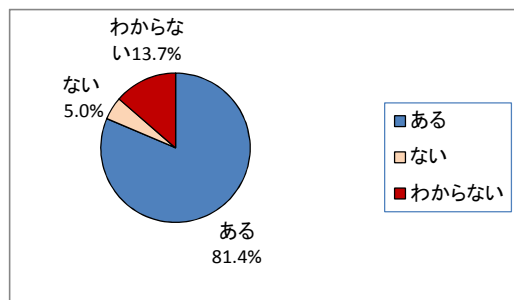
問5 滋賀県では県内のホール、博物館、ギャラリーなどのイベント情報を掲載する文化情報紙「れいかる」を発行し、滋賀県内の市役所・町役場、文化施設、図書館や県内各金融機関に設置し無料配布しています。あなたはこの1年間で「れいかる」を読んだことがありますか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
ある	116	36.0
ない	206	64.0
合計	322	100.0



問6 滋賀県には、国内外に誇ることができる文化(多彩な芸術文化、地域において継承されてきた文化的資産・生活文化、魅力ある風景など)があると思いますか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
ある	262	81.4
ない	16	5.0
わからない	44	13.7
合計	322	100.0



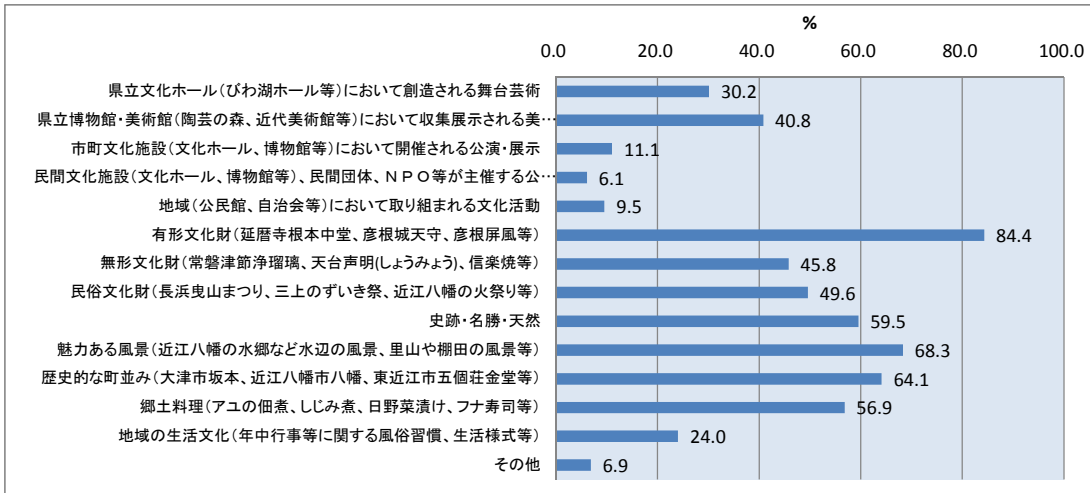
問7 ※問7は、問6で「1. ある」を選択した方のみ回答してください。

あなたが国内外に誇ることができる滋賀の文化とはどのようなものですか。

以下の中から思いつくものを選択し、具体的な名称があれば「具体的な名称」欄に3つ程度記入してください。

(回答チェックはいくつでも可)

項目	人数(人)	割合(%)
県立文化ホール(びわ湖ホール等)において創造される舞台芸術	79	30.2
県立博物館・美術館(陶芸の森、近代美術館等)において収集展示される美術作品等	107	40.8
市町文化施設(文化ホール、博物館等)において開催される公演・展示	29	11.1
民間文化施設(文化ホール、博物館等)、民間団体、NPO等が主催する公演・展示	16	6.1
地域(公民館、自治会等)において取り組まれる文化活動	25	9.5
有形文化財(延暦寺根本中堂、彦根城天守、彦根屏風等)	221	84.4
無形文化財(常磐津浄瑠璃、天台声明(しょうみょう)、信楽焼等)	120	45.8
民俗文化財(長浜曳山まつり、三上のずいき祭、近江八幡の火祭り等)	130	49.6
史跡・名勝・天然	156	59.5
魅力ある風景(近江八幡の水郷など水辺の風景、里山や棚田の風景等)	179	68.3
歴史的な町並み(大津市坂本、近江八幡市八幡、東近江市五個荘金堂等)	168	64.1
郷土料理(アユの佃煮、しじみ煮、日野菜漬け、フナ寿司等)	149	56.9
地域の生活文化(年中行事等に関する風俗習慣、生活様式等)	63	24.0
その他	18	6.9
回答者数	262	



★具体的な名称

唐崎神社からの絶景、近江神宮～西教寺周辺

信楽焼

太鼓踊り、裸参り、花嫁行列など興味深いです。

近江水の宝・社寺・市町ミュージアム

仏像 社寺仏閣 街道の歴史

安土城(歴史が苦手でも、織田信長はみんな知っている)。信楽(信楽焼は全国的にも有名)。竹生島(日本一の湖に浮かぶ島で、寺もある)

鳥人間コンテスト、カヌーの大会、忍術

伝統漁法(エリ漁、おいさで漁)、和楽器の絹糸、浜ちりめん、近江上布、信楽焼、扇骨

水郷巡り

近江八景(瀬田の唐橋・堅田の落雁・比良の・・・)

大津祭りの曳山巡航、長浜 子供歌舞伎、八日市の大凧

惟喬親王祭

日吉大社 山王祭 坂本城址

おこない

三井寺からの風景・石坂線の電車・油日神社周辺の風景

ひこにゃん等・イナズマロックフェス

高島トレイル、比良山系からの琵琶湖の景観、鈴鹿山系(御池岳や御在所岳の紅葉風景など)。

米、果物、牛肉

針江の水文化、びわ湖のエリ漁

オコナイ 勝部神社の火祭り 土山白川神社の祭り

長浜曳山祭り、彦根城、信楽焼

比叡山、八幡ほり、大津祭り

他、石山寺などの歴史のある建造物、寺院など

近江八幡の水郷、延暦寺、彦根城

なぎさ公園

小倉遊亀 岸竹堂などの日本画

彦根城天守、安土城跡、ふな寿司

うなぎのお茶づけ、びわますのさしみ、沖島

西明寺、百済寺、金剛峰寺 などの紅葉

琵琶湖と周囲を取り囲む山々

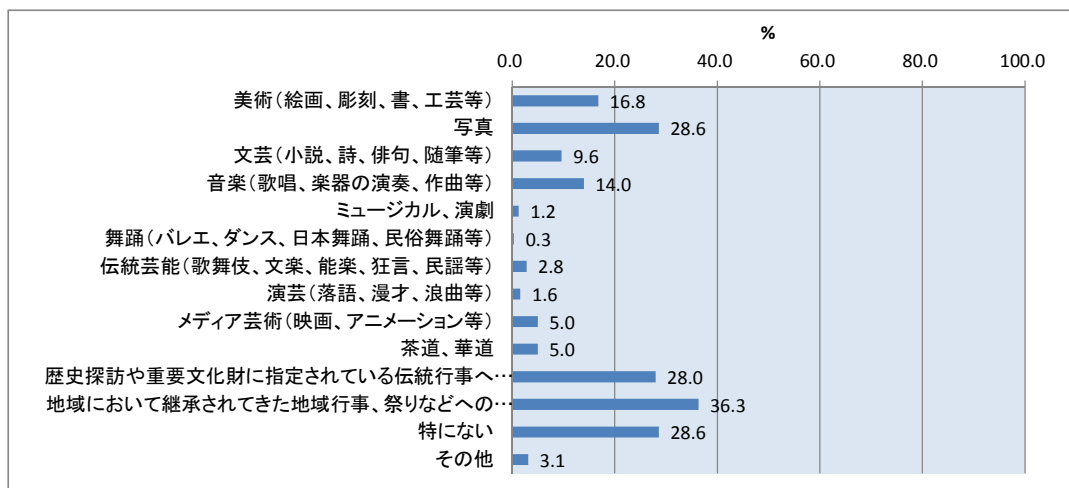
草津の宿場町と天井川

おおみの財

大津祭り、瀬田の唐橋等

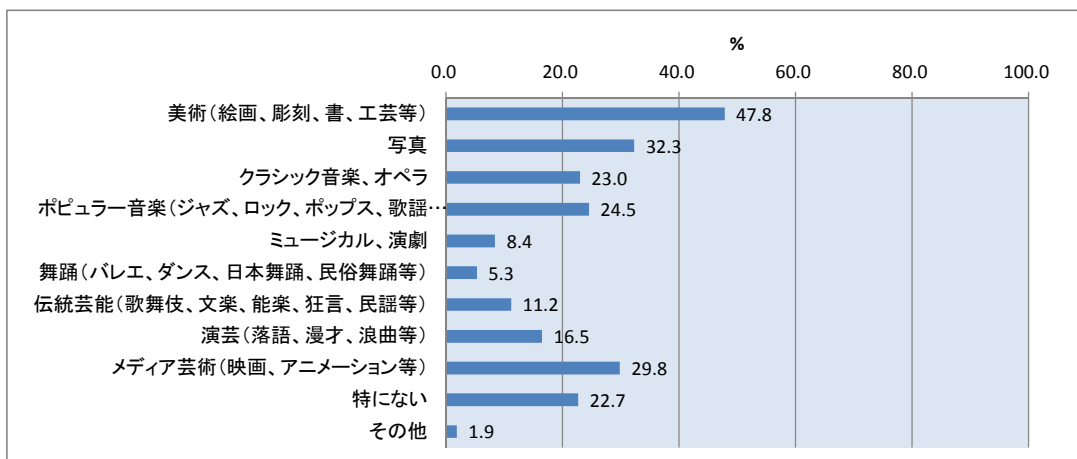
問8 以下の文化創作活動について、この1年間にあなた自身がされたことをすべて選んでください。(回答チェックはいくつでも可)

項目	人数(人)	割合(%)
美術(絵画、彫刻、書、工芸等)	54	16.8
写真	92	28.6
文芸(小説、詩、俳句、随筆等)	31	9.6
音楽(歌唱、楽器の演奏、作曲等)	45	14.0
ミュージカル、演劇	4	1.2
舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊、民俗舞踊等)	1	0.3
伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言、民謡等)	9	2.8
演芸(落語、漫才、浪曲等)	5	1.6
メディア芸術(映画、アニメーション等)	16	5.0
茶道、華道	16	5.0
歴史探訪や重要文化財に指定されている伝統行事への参加	90	28.0
地域において継承されてきた地域行事、祭りなどへの参加	117	36.3
特にない	92	28.6
その他	10	3.1
回答者	322	



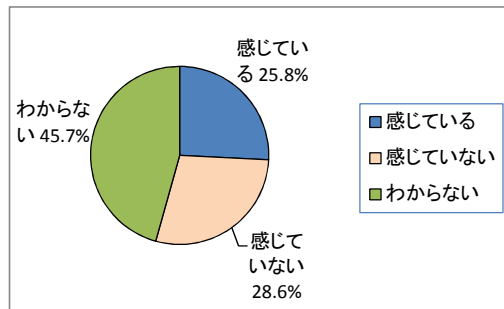
問9 芸術文化の鑑賞(テレビ、ラジオ、レコード、CD、ビデオ、DVDなどによる鑑賞を除く)について、以下のジャンルの中で、この1年間にあなた自身が鑑賞されたものを選んでください。(回答チェックはいくつでも可)

項目	人数(人)	割合(%)
美術(絵画、彫刻、書、工芸等)	154	47.8
写真	104	32.3
クラシック音楽、オペラ	74	23.0
ポピュラー音楽(ジャズ、ロック、ポップス、歌謡曲等)	79	24.5
ミュージカル、演劇	27	8.4
舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊、民俗舞踊等)	17	5.3
伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言、民謡等)	36	11.2
演芸(落語、漫才、浪曲等)	53	16.5
メディア芸術(映画、アニメーション等)	96	29.8
特にない	73	22.7
その他	6	1.9
回答者	322	



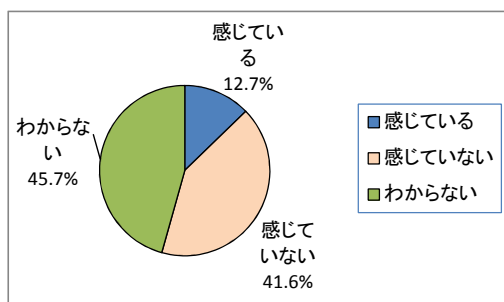
問10 滋賀県では子どもが本物の文化に触れる機会の充実を重点施策として取り組んでいます。学校の授業での文化・芸術体験学習、美術館・文化ホール等の文化施設で提供されている子ども向けプログラム、地域での取組などにより、子ども(中学生以下)が文化・芸術を体験する機会が確保されていると感じていますか。  
(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
感じている	83	25.8
感じていない	92	28.6
わからない	147	45.7
合計	322	100.0



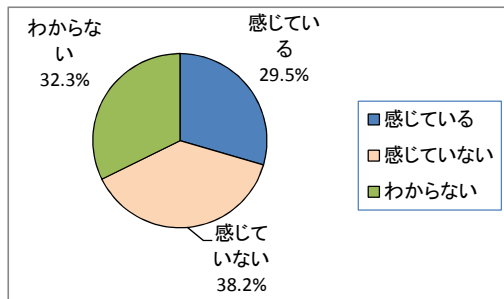
問11 あなたは、この1年間で滋賀県内において、若手の芸術家(概ね40歳まで、ただし芸術の分野によって若手とされる年齢の範囲が40歳以上の場合はその年齢まで)による展覧会や演奏会等の発表の場などが活発に行われていると感じていますか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
感じている	41	12.7
感じていない	134	41.6
わからない	147	45.7
合計	322	100.0



問12 あなたは、滋賀県内の文化ホールや美術館等の文化施設で開催される展覧会や公演、イベント等において、優れた芸術(全国・世界レベルの舞台芸術、芸術性の高い展覧会など)に触れることができると感じていますか。  
(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
感じている	95	29.5
感じていない	123	38.2
わからない	104	32.3
合計	322	100.0



問13 その他、滋賀県における文化振興施策の推進に向けて、ご意見等がありましたらお聞かせください。(400字以内)

- ・文化の振興というときに、どういう文化を対象とするのか、また何をもち振興というのかを考えて政策を立てる必要があるように感じます。
- ・滋賀県で文化振興をされていることは全く知らなかったのもう少し周知することにも力を入れてほしいと思いました。
- ・滋賀県の地域に根付いた特有の文化を大切に振興していく必要があると考えます。
- ・県や市が発行する情報紙は1回/月必ず目にしますが芸術・文化関連の情報がほとんどありません。時折、市の文化会館で催されるコンサートや芸術展の案内は目にしますが他市の情報は全く分からないのが現状です。全県で芸術・文化に絞った情報紙を半年に1回程度、より詳しく、分かりやすく発行していただくと意識・知識の向上につながると思われます。(コストは掛かりますが・・・)
- ・県立美術館にて有名な絵画や美術が鑑賞できるといいなあと思います。
- ・私は、県政モニターとしても母親の一人としても子供たちの文化振興について、日頃から思っていることがあります。それは、子供の時代から地域の文化に触れさせていこうと考える大人たちは、素晴らしいのだけれど、そこに子供たちの考えやニーズが盛り込まれているのか疑問だということです。たくさん子供に行事をさせると負担になっているケースもあり、子供たちにも聞いて欲しいと思います。欲をいえば、子供たちの考え重視の文化体験となるように滋賀県の行政の皆さんにお願いしたいです。(大人の考えは、サブ的でもいいと思います。)これからはになっていく子供たちの思いも尊重していく県政となり、ニーズを知るために子供へのアンケートなどを希望します。
- ・滋賀で誇れるものに特化した方が良くはないかと思えます。無理やり文化振興をすべきものでもないのではないのでしょうか？ 予算ありきでの振興ではなく本当に滋賀独自の文化活動を考えてやっていくべきと考えます。
- ・滋賀の文化を若手が理解することは、郷土を愛する人材育成になると思えます。ただし、押しつけがましい方法では、理解がむづかしい。まずは、生活圏での行事や活動の場により親しみ、さらに進んだ幅広い多くの機会に参加できる(体験)ようにできれば。
- ・先日開催されました、高島市での「風と土の交響」にボランティアとして参加させていただいたのですが、非常に良いイベントでした。地域振興と芸術に触れる機会の提供の両方がなされていると感じましたし、雰囲気もとてもよかったです。このような芸術を通じたイベントから地域が繋がっていき、外から来た人にも市のことを知ってもらえるいい機会になる企画がもっと広がってほしいと思いました。
- ・あまり興味のない事だったので、知らないことばかりでびっくりしております。もっと興味を持とうと思いました。
- ・子供の時から芸術文化にふれさせてあげることは良いと分かっているが、なかなか個人的には情報も少なく、金銭的にも無理があります。しかも、小さな兄弟がいると、静かにしなくてはいけない文化施設には入りにくいと感じます。学校や幼稚園などの教育機関単位で、伝統文化にふれる機会をもっと作っていただけると(今でも年に1回くらいはありますが)、親としては嬉しいです。
- ・情報を取りにいかないと見ることができない環境であると考えます。市役所等にたまにいきますが、「文化で滋賀を元気に！」シンボルマーク等のチラシなども見たことがありません。新聞広告の滋賀県冊子にも掲載されていたのかもしれませんが、見た覚えがありません。逆に、佐川美術館や琵琶湖ホールでの展示品や劇場案内はよく見るがあります。びわ湖ホールでオペラを見たこともあります。滋賀県を上げて、芸術に取り組んでいるとは一般の市民には伝わっていないのではないのでしょうか。
- ・文化振興施策については、地域の文化協会等を通じ積極的に展開されていますが、一時に比べ活動される団体等が減少しているのでは？と危惧しています。活動するためには費用も必要であり、以前は活動のための助成制度があり、それを活用した活動であった気がします。現在は活動団体の会費制度で運営されているのが主流であり、原資の乏しい団体は活動も少ない。資金をかけずに活動するための方法、アドバイスがあれば情報提供して活動しやすい環境作りが大切と考えます。
- ・近隣にびわ湖ホールがあります。不定期ですが手ごろな費用で本格的なクラシック音楽が聴けたり、ミュージカルが見られます。どうしても高尚な文化イベントは高額かつ敷居が高い印象がありますので、気軽に参加できるイベントがたくさん催されていることを多くのメディアやチャネルで宣伝してもらえれば、関心を持つ方も増えると思います。小学生の子供が学校イベントの一つとして、びわ湖ホールで音楽鑑賞ができたり、びわ湖にちなんだ文化学習ができる「フローティングスクール」は、滋賀県ならではの非常によい取組みだと感じています。最近では、百人一首や軽音楽にちなんだマンガで滋賀県がスポットを浴びていますし、歴史上の人物ゆかりの場所も数多く点在していることから、内外にアピールできる要素は多いはず。個別のイベントは単発で終わりがちですが、複数のイベントを関連付けて定期開催にするなどによって、興味関心をもつ県民が増えるのではないのでしょうか。ラフォーレ・びわ湖などはよい例かと思えます。
- ・活発に行われて 良い状況にあると思えます。
- ・行政は文化振興の中でも派手で有名なものよりも地味なものに目を向けて欲しい。
- ・全く文化振興施策の推進がされていない。もっと根本的に考え直す必要があると思えます。
- ・例えば、自治会単位で、伝統芸能を取り入れられるような取り組みが必要では？ 伝統芸能は、見たり聞いたりしただけではダメで、やってみて、発表して初めて身につくものと思う。地域の人を巻き込みながら、取り組むことができる施策を進めるべきだ。
- ・文化振興施策の推進には、情報発信側と受信側との相互交流が必要だと思えます。情報発信方法では、従来通りの紙による手段が中心のように思われますが、昨今のインターネットを活用した方法に軸足を移す必要があると思えます。
- ・県内における展覧会等の開催場所を湖南地区に集中せず考慮願いたい。